

研修参加希望の皆様は、以下の事項をお読み頂いた上お申し込み下さい。

【申し込み要件】

全講座の申込み資格	東京都医療社会事業協会の会員となります。 会費未納者は会費納入後にお申し込み下さい(会費未納者は受講できません)。また、学生会員は受講できません。
新人研修	一部、東京都の受託事業(東京都から研修費が出ています)となっているため、応募者多数の場合は正会員(都内会員)を優先とさせていただきます。
グループスーパービジョン (A・B・C)	各グループスーパービジョンの受講者には成果編集として、全研修終了後、報告書(レポート)を提出して頂きます。東京都で「医療ソーシャルワークの解決技法」という冊子にして発行予定です。

※開始時間を厳守し、講師や他の受講者の迷惑とならないよう配慮して下さい。全回出席できることが申し込みの基本条件となります。やむを得ない事情で欠席する際は各研修担当理事もしくは他の参加者に連絡して下さい。

※受講者は、連絡できる携帯電話番号・メールアドレスを事前に登録していただきます。

【申し込み方法】

新人研修	①協会事務所へ新人研修担当者宛として、簡易書留で講座申込書を郵送して下さい。 また、 返信用の封筒 もお忘れなく同封して下さい(申し込み者の住所、氏名等、宛先を記入の上)。FAX、メール等での申し込みは出来ません。 期間内で受付し、申込者多数の場合は担当者による抽選となります。詳しくは受講案内詳細(P3)をご覧ください。 ②協会員であることが必須条件です。平成31年5月11日の理事会承認が得られた方までが対象になります。よって、まだ入会していない方は、①の手続きと共に、入会申込の手続きを5月8日(水)までに済ませてください。入会の手続きに関しては、都協会ホームページを参照ください。
新人研修以外の講座	①講座案内をご覧ください協会事務所へ講座申込書をFAXでお申し込み下さい。 ②講座ごとに受付期間が異なりますので、各講座案内を確認の上お申し込み下さい。応募者多数の場合は先着順かつ初受講者を優先とします。

【注意事項その他】

※一つのグループに偏りがある場合は、教育部で調整させて頂く事があります。予めご了承下さい。

※参加者が定員に満たない場合は追加募集を行う事もあります。

※多くの会員が受講できるように、グループスーパービジョンに限り1人1講座の申し込みとさせていただきます。

※参加した講座で予定外の講義や合宿などを行う場合の費用は、全て自己負担となります。

※途中、講師などの事情により、講師や会場・日時の変更をする場合もあります。

※今年度の新人研修の受講生は来年度の新人研修の運営のお手伝い(概ね1回/年)をして頂くことがあります。また、毎回、宿題として前回の感想を提出して頂きます。

※今年度は、「(夜間)講座」を年3回計画しております。

※今年度は「SV養成講座(6月～2月 計8回)」、連続講座2講座(前期、後期に開催。それぞれ計5回程度)を開催いたします。詳細につきましては、開催時期が近くなりましたら、再度、ご案内致しますので奮ってご参加下さい。

平成31年度 研修会予定一覧

研修名	講師	定員	認定医療社会福祉士 ポイント		
			特別講義 (通年・集中共通)		
新人研修	協会依頼の講師	通年:40名 集中:20名	特別講義 (通年・集中共通)	16	
			通年	組織理解	16
				個別援助技術	21
			集中	組織理解	9
個別援助技術	9				
グループ スーパービジョン A	古屋 龍太 先生 (日本社会事業大学大学院)	9名	26		
グループ スーパービジョン B	石井 三智子 先生 (元、武蔵野大学 現、日本社会事業大学)	9名	26		
グループ スーパービジョン C	助川 征雄 先生 (聖学院大学・大学院)	9名	26		
スーパーバイザー 養成講座	福山 和女 先生 (ルーテル学院大学)	12名	21		
SW実践力を鍛える ～アセスメントに根拠を持つ ～	佐原 まち子 先生 (一般社団法人WITH医療 福祉実践研究所代表理事)	20名	20		
多問題を抱える家族の 理解と支援	山本 由紀 先生 (遠藤嗜癪問題相談室室長 ／上智社会福祉専門学校)	20名	年度後半の開催を予定しております。 詳細につきましては、追って皆さんにご案内いたします。		

※開催日時や開催場所については、各受講案内をご覧になった上で、お申し込み下さい。

※認定医療社会福祉士のポイントは、該当講座の9割以上の出席で発行となります。

受講案内詳細【新人研修】

新人研修(通年)

講師	協会依頼の講師
開催日時	新人研修開催日程参照
会場	家庭クラブ会館(JR新宿駅南口 徒歩8分)
対象者	経験年数3年未満の方 ※会員歴ではなく、ソーシャルワーカー経験3年未満です
定員	40名
費用	¥26,000円(消費税込) 一部東京都受託事業 申込み受付時に振込用紙を返送(開講当日に振込用紙の控えかコピーを持参下さい)

新人研修(集中)

講師	協会依頼の講師
開催日時	新人研修開催日程参照
会場	家庭クラブ会館(JR新宿駅南口 徒歩8分)
対象者	経験年数3年未満の方 ※会員歴ではなく、ソーシャルワーカー経験3年未満です
定員	20名
費用	¥17,000円(消費税込) 一部東京都受託事業 申込み受付時に振込用紙を返送(開講当日に振込用紙の控えかコピーを持参下さい)

※特別講義は通年・集中とも合同で開催します。それ以外の講義は通年・集中で分かれて開催します。

申込み方法(通年・集中)

受付期間	研修会ご案内到着後～平成31年5月8日(水) 当日消印有効
申込方法	下記2点を簡易書留郵送にてお申込み下さい。 ①平成31年度講座申込書 ②返信用封筒は、サイズ長3(A4三折が入る大きさ)に82円切手を貼り、宛先(申込者の住所・氏名等)を記入する
申込受付	基本的に簡易書留郵送にて上記期間内で受け付けますが、応募者多数により、受講頂けない場合があります。万が一、受講頂けない場合は、担当者から申込者へ直接ご連絡させていただきますのでご了承下さい。 また、指定の方法以外での申込みは、原則受付出来ませんのでご注意ください。
注意事項	協会員であることが必須条件です。平成31年5月11日の理事会承認が得られた方までが対象になります。よって、まだ入会していない方は、入会申込の手続きを5月8日(水)までに済ませてください。 入会の手続きに関しては、都協会ホームページを参照ください。
郵送先	〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-43-11 福祉財団ビル5階 一般社団法人 東京都医療社会事業協会 教育部 新人研修担当者まで
受講費用	受講申込期間終了後、受講決定者には受講決定通知と研修費用振込用紙等を、同封頂いた返信用封筒で郵送致します。必ず、受講費用の振込みを5月31日(金)までに完了して下さい。また、年会費に関しても必ず振込みを行った上でご参加ください。 開講日当日には振込みの控えもしくはコピーをお持ち下さい。

※申込みに関するお問合せ先(メールでお願いします)

【教育部】
公益財団法人結核予防会 新山手病院
地域連携課 原田 剛
Email : soudan@shinyamanote.jp
TEL : 042-391-1425(代表)

平成31年度 新人研修開催日程(通年)詳細案内

※講師敬称略

開催(日・時間)		内 容		講 師	会 場
6月	14日	特別 講 義	① 病院で働くということ ～ソーシャルワーカーの本質～	当協会会長 先輩OBソーシャルワーカー	家 庭 ク ラ ブ 会 館
	28日		② 先輩ソーシャルワーカーからのお話	現任ソーシャルワーカー	
7月	12日	組 織 理 解	(1)オリエンテーション・自己紹介	至誠会第二病院 樋口 昌彦	
	26日		(2)SWの機能と役割		
8月	9日		(3)病院組織内の医療相談室 チームワーク		
	23日		(4)SWの業務の範囲と責任		
9月	6日		(5)地域内諸機関との協働		
	20日		(6)組織理解まとめ		
10月	4日	特 別 講 義	③ 病気とソーシャルワーク	帝京平成大学 平岡 久仁子	
	18日		④ 社会保障Ⅰ(年金、医療保険など)	社会保険労務士 よつばサポートオフィス 加賀 佳子	
11月	1日		⑤ 社会保障Ⅱ(高齢、障がいなど)	順天堂大学医学部附属 練馬病院 柴田 礼子	
	15日	⑥ 記録と報告	国際医療福祉大学 小嶋 章吾		
12月	3日	個 別 援 助 技 術	(1)この研修で目指すもの・コミュニケーション	武蔵野大学 小松 美智子	
	17日		(2)理解的態度・共感的態度		
1月	14日		(3)スクリーニングとインテーク		
	28日		(4)インテークとアセスメント		
2月	4日		(5)アセスメント		
	18日		(6)アセスメントと支援計画(実践的判断)		
	25日		(7)業務改善の視点		
3月	6日		(8)個別援助技術まとめと振り返り 修了式		

※講師や会場その他の都合により日程が変更になる場合があります。その際は開講当日に決めた連絡網にて連絡します。

※7割出席にて修了証を発行します。

※最終日に皆勤、修了の表彰をします。その後、打ち上げ会を予定しています。(参加費別途徴収)

※勤務先、連絡先等変更があった際は、都協会事務所と担当理事までご連絡下さい。

※欠席する場合は担当理事までご連絡ください。急な欠席の場合は受講者同士で連絡を取り会場にいる担当理事に伝言ください。

会場のご案内: 家庭クラブ会館 東京都渋谷区代々木3-20-6

平成31年度 新人研修開催日程(集中)詳細案内

※講師敬称略

開催(日・時間)			内 容(特別講義)	講 師	会 場	
6月	14日	19時から21時	特別講義	① 病院で働くということ ～ソーシャルワーカーの本質～	当協会会長 先輩OBソーシャルワーカー	家庭 ク ラ ブ 会 館
	28日			② 先輩ソーシャルワーカーからのお話	現任ソーシャルワーカー	
9月	1日 (日)	9時から17時	組 織 理 解	至誠会第二病院 樋口 昌彦 森山記念病院 仲谷 恵美子		
10月	4日	19時から21時	特別講義	③ 病気とソーシャルワーク	帝京平成大学 平岡 久仁子	
	18日			④ 社会保障Ⅰ (年金、医療保険など)	社会保険労務士 よつばサポートオフィス 加賀 佳子	
11月	1日	19時から21時	特別講義	⑤ 社会保障Ⅱ (高齢、障がいなど)	順天堂大学医学部附属 練馬病院 柴田 礼子	
	15日			⑥ 記録と報告	国際医療福祉大学 小嶋 章吾	
12月	7日 (土)	9時から17時	個 別 援 助 技 術 ～修了式～	武蔵野大学 小松 美智子		

※講師や会場その他の都合により日程が変更になる場合があります。その際は開講当日に決めた連絡網にて連絡します。

※7割出席にて修了証を発行します。

※最終日に皆勤、修了の表彰をします。その後、打ち上げ会を予定しています。(参加費別途徴収)

※勤務先、連絡先等の変更があった際は、都協会事務所と担当理事までご連絡下さい。

※欠席する場合は担当理事までご連絡ください。急な欠席の場合は受講者同士で連絡を取り会場にいる担当理事に伝言ください。

会場のご案内: 家庭クラブ会館 東京都渋谷区代々木3-20-6

新 人 研 修 講 座 概 要

<講師>

- 特 別 講 義** : 田上 明 会長
武内 昶篤 副会長
平岡 久仁子 先生 (帝京平成大学)
加賀 佳子 先生 (社会保険労務士よつばサポートオフィス)
柴田 礼子 先生 (順天堂大学医学部附属練馬病院)
小嶋 章吾 先生 (国際医療福祉大学)
その他、現任ソーシャルワーカー
- 組 織 理 解** : 樋口 昌彦 先生 (至誠会第二病院)
仲谷 恵美子 先生 (森山記念病院)
- 個 別 援 助 技 術** : 小松 美智子 先生 (武蔵野大学)

新人研修は内容としては特別講義・組織理解・個別援助技術の3部構成です。
研修体系としては、通年・集中の2コースに分かれています。

<内容>

特別講義(全6回)は、通年・集中両方を参加者全員に受講して頂きます。新人ソーシャルワーカーとして是非知っておいて頂きたい内容として、様々な視点と領域から各テーマを設定しています。

組織理解は、組織の中でのソーシャルワーカーの位置づけや果たすべき役割、関係機関との協働などを中心に組織の中で役立つ基本的内容を講義していきます。

個別援助技術は、日常の相談業務を振り返りながら、面接をいかにに行い、どのように進めていけば良いのか、相談者の抱えている本当の問題を発見し、理解するためにどうしたら良いのか・・・といった日常の相談業務に役立てられる内容の講義をしていきます。

<研修体系(通年コース・集中コース)>

通年コースは、概ね月2回(スケジュール上1または3回の場合有)実施します。特別講義6回、組織理解6回、個別援助技術8回の全20回開催予定です。一年間、じっくりソーシャルワーカーとしての基礎を学べるコースです。

集中コースは、通年コースでは回数が多いので業務上参加が難しいという方のために開催します。特別講義6回は変わりませんが、組織理解と個別援助技術を各1日でコンパクトにまとめて学べるようにし、全8回開催予定としたものです。

～昨年度、新人研修受講生の声より～

- ◆悩んでいる同世代、経験年数の皆さんと交流することによって自分では気づくことの出来なかった新たな視点を発見することが出来、とても貴重な機会だった。
- ◆いつもの業務では気がつかないところに目が向けられたのは、新人研修のとても良いところだったと思う。
- ◆職場で落ち込むことがあっても、同じように感じている同期と一緒に研修の場で話げできたので、通うのが楽しみだった。
- ◆実践でつまづいていることを学ぶことができたので支えになった。
- ◆業務の悩みや不安を分かち合うことで、自分だけではないと安心し、気持ちを入れ替えて業務をすることができた。今後もこの出逢いを大切にしたい。
- ◆明日からの業務を頑張ろうという活力になった。学びが多かったことはもちろん、メンタル面でも支えられた研修だった。
- ◆面接技術の難しさなど自分だけの悩みだと思っていたが、皆と同じ悩みをもって、少しほっとした。同期ができて、良き相談の場となった。
- ◆現場の実際のケースから面接の技術に至るまで、非常に多くの学びとなった。学校では学べない、とても有意義な20日間だった。

受講案内詳細

【グループスーパービジョンA・B・C】

定員	: A・B・Cそれぞれ9名
費用	: 東京都受託事業のため不要
申込期限	: 平成31年5月8日(水)必着
申込方法	: 講座申込書に記入し、下記宛にFAXでお申込み下さい(メール不可)。
申込先	: 東京都医療社会事業協会 事務局 宛
FAX	: <u>03-5944-9745</u>

グループスーパービジョン等における事例の記載方法

グループスーパービジョンは、東京都の受託事業であり、受講者には必ず成果編集で、事例を提出して頂きます。

それは「医療ソーシャルワークの解決技法」という冊子として、東京都がまとめて都庁都民情報ルームや図書館などで広く一般に出回るため、提出の際に様々な配慮が必要となります。

そこで、東京都医療社会事業協会として、記載方法を統一しました。

記載方法の詳細については、グループスーパービジョン初回到教育部からご案内いたしますので、欠席のないようよろしくお願いいたします。

また事例を提出するにあたっては、基本的にクライアントの承諾を得てください。

原稿の提出

方法:	Eメールに添付するなど、担当者の指示に従い提出してください。
期限:	提出期限は基本的に次年度の4月末としますが、各研修の状況により期限が前後する場合があります。それまでの過程は、スーパーバイザーの指示に従ってください。

※提出していただいた原稿は、お返し致しません。また、冊子の校正を進める段階で、場合により東京都の担当者が一部訂正・削除することもありますので、ご了承下さい。

※受講時の事例の配布についても、同じように特定されないような配慮をし、事例提出者が最後に回収する等、個人情報の保護に努めて下さい。

平成31年4月1日 一般社団法人 東京都医療社会事業協会 教育部

受 講 案 内 詳 細

グループスーパービジョンA

講師 古屋 龍太 先生(日本社会事業大学大学院 教授)

【講師略歴】1982年より国立武蔵療養所、国立精神・神経センター病院にソーシャルワーカー(PSW:医療社会事業専門員)として26年間勤務。2008年より日本社会事業大学専門職大学院准教授、2015年より教授、2016年より同研究科長。現在、日本精神保健福祉士協会理事、日本デイケア学会副理事長。単著に『精神科病院脱施設化論』『精神障害者の地域移行支援』、編著に『Q&Aでわかるこころの病の疑問100』、共著に『ソーシャルワーク・スーパービジョン論』など。

開催日	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			4日	2日	6日	3日	1日	5日	3日	7日	4日	3日
開催時間	19時00分～21時00分 第1火曜日開催											
会 場	東京芸術劇場 5階ミーティングルーム											
対 象 者	経験年数1年以上の方 注: 認定医療社会福祉士のポイントを申請される方は、 <u>欠席・遅刻・早退</u> がありますと、証明書は発行出来ない場合があります。											

～古屋 龍太先生より～

「もやもやを言語化する」

あなたは、日頃の現場で、もやもやを抱えていませんか？ソーシャルワーカー(SW)として、目の前のクライアント(CL)と向き合っているのでしょうか？医療機関におけるSWとして、本当に仕事ができているのでしょうか？転院調整係になってはいないのでしょうか？

臨床現場でSWは様々なジレンマを抱え込みがちです。医療専門職がCL側の「問題」と考えがちな事柄は、実はSW側の課題を表しています。SWが、CLにとって最良の選択肢をと願っていても、自職場でできないこともあります。他職種との価値の相違や、チーム内における自身の立ち位置の課題に直面せざるを得ないこともあるでしょう。忙しい業務の中で、SWのかかわりは擦り切れてしまいがちです。自身の行為が本当にSWのかかわりとして適切であったか、他者の目を通して検証する場が必要です。

GSV-Aグループでは、提出された事例について、皆で質問し相互に省察を深めていくピアGSVの形をとっています。取り上げるテーマは、SWのCLへのかかわり方を中心としつつ、チーム内でのSWとしてのポジション、医療経営とのかかわり、地域の関係者との関係など、同心円状に広がっていきます。SWとしての価値と視座を再確認しながら、自分の実践や周辺環境をどのように変えていくことができるか、その方法を皆で考えていきます。

もやもやの答えは、あなたの中に、既にあるはずで。GSVとともに語り合うことを通して、もやもやの言語化にチャレンジしましょう。

～昨年度の受講者の声より～

◆経験年数が近い、他の受講生の方々からもらうアドバイスはより見時間に感じるの、自分自身の中に落としこみやすいと感じます。また、様々な機関の方とはなしができるので、機関によっては意見ももらうことが出来、視野も広がったと思います。

◆自分の中で良い振り返りの機会を与えていただきました。古屋先生がPSWだったこともあり、精神科のケースに対する的確な助言もいただけたと思います。

◆月に1回、支援の振り返りをする事は、忙しい日々の業務にあって落ち着いて学べる貴重な時間でした。古屋先生のお話を伺い、生きづらい方にどのように寄り添っていけばよいのか、そして自分(MSW)もどのように大切にしていけるのか、学べたように思います。

◆同じくらいの年代の方々と同じような悩みを共有することができ、職場以外の方たちのSW実践を学ぶ良い機会となった。

◆日々の仕事で、自分のケースを振り返る機会がなかったので、GSVを通して今までの関わりに対して考える良い機会となった。

受 講 案 内 詳 細

グループスーパービジョンB

講師 石井 三智子 先生（日本社会事業大学非常勤講師）

【講師略歴】1956年生まれ。広島県出身。中・高の教員(社会科)を経て、都内医療機関の医療ソーシャルワーカー、企業・在宅医療分野のクリニックのソーシャルワーカーを歴任。南山大学(文化人類学)、上智大学卒業。日本女子大学修士課程修了。兵庫県園芸療法士補。武蔵野大学(旧武蔵野女子大学)の専任教員を経て、現在にいたる。「平和教育」の実践を出発点に、被爆者の人権と証言への関心は、被爆2世としての私の原点でもある。この20年近くのインフォーマルなまたフォーマルな形の現役MSWへのサポートは、ライフワークの一つである。

開催日	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			27日	25日	22日	26日	24日	14日	19日	23日	27日	26日
開催時間	19時00分～21時00分 第4木曜日開催(ただし、11月は第2木曜日・12月は第3木曜日開催)											
会場	6月・7月 東京芸術劇場(JR池袋駅西口 徒歩2分) 8月以降 家庭クラブ会館(JR新宿駅南口 徒歩8分) ※6・7月と8月以降で会場が変わります。ご注意ください。											
対象者	経験年数1年以上5年未満の方 注: 認定医療社会福祉士のポイントを申請される方は、 <u>欠席・遅刻・早退</u> がありますと、 <u>証明書は発行出来ない場合があります。</u>											

～石井 三智子 先生より～

【相談を受ける側の身体と脳に着目し、受けとめる側の容量(許容量)を広げてみよう】

私たちソーシャルワーカーの武器(強み)は何なのだろうか？常に更新される知識や情報の蓄積、あるいは面接技術、的確なアセスメント力、感性や直観力なのだろうか。いわゆる頭、神経、心をすり減らす職業とも考えられがちであるが、当事者の私たちのそうした意識と、第三者の持つイメージとのズレはどうなっているのだろうか。今年度のテーマ、目標を次のように想定している。相談を受ける側の身体と脳に着目し、受けとめる側の容量(許容量)を広げてみようと思っている。縁あって、1年前から作業療法の方法論をも一部援用する「園芸療法」なるものを体系的、理論的に学びはじめ、膨大な時間の実習を残して修行中の身である。「環境」の改善や整備といったことばは、社会環境や家族環境から、自然環境や生活環境とウェイトの置き方が異なり、新鮮でもある。ソーシャルワークの支援や面接において、相手の過去を尊重し、先の未来を予測しながら、現在の問題を見ていくという全体を俯瞰しながら、今の問題をほどこいていく姿勢は、園芸療法士においては次のようである。設定した目標はありながらも「今、ここに」集中して、作業を通じた楽しみや喜びを通じて、自己肯定感や達成感を獲得していただく。双方どちらの優劣を問うているのではなく、他者を理解しようとする異なる解析装置、方法がある。他者を受けとめ、理解を深めていくという自らの容量の拡大と相互理解に資することにならないかとの問題提起である。参加の方に事例を提供していただく形をとりながら、身体を動かすあるいは体験的なエクササイズも楽しめるものを取り入れていきたい。私たちの武器は、その人個人、その人間であり、技術も知識も人間力も鍛え続けるしかない。だから、高め合える仲間を必要とする。

- 参考文献
- ①奥川 幸子 『身体知と言語』～対人援助技術を鍛える～ 中央法規 2007
 - ②河合 隼雄×鷺田 清一 『臨床とことば』朝日文庫 朝日新聞出版 2010
 - ③鷺田 清一×山際 寿一 『都市と野生の思考』インターナショナル新書 集英社 2017
 - ④池谷 裕二監修 『脳と心のしくみ』ビジュアル版 新生出版社 2018

～昨年度の受講者の声より～

◆石井先生、受講生の皆さんと月1回、顔を会わせて互いの支援に対する悩みを共有、アドバイスを頂けたことがよかったです。心が少し楽になりました。

◆経験年数が近い方々とケース検討をしたことで、同じような悩みがあったり、解決の仕方を学んだり勉強になることが多かったです。石井先生の助言や事例提出後の振り返りを通して、今後の支援に活かせるような視点を学ぶことができました。

受 講 案 内 詳 細

グループスーパービジョンC

講師 助川 征雄 先生（聖学院大学・大学院 客員教授）

【講師略歴】民間精神科病院、神奈川県（精神保健福祉士）勤務。1977、1987年に英国留学。主に精神障害者の地域生活支援、および英国モデル研究と応用に従事。現在は、田園調布学園大学および聖学院大学人間福祉学部・同大学院教授を経て、聖学院大学名誉教授。総合研究所・スーパービジョンセンタースーパーバイザー。

（注意）2月の開催日が変更になりました。

開催日	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			21日	19日	23日	20日	18日	15日	20日	17日	21日 28日	13日
開催時間	19時00分～21時00分 第3金曜日（8月は第4金曜日、3月は第2金曜日）開催											
会場	家庭クラブ会館（JR新宿駅南口 徒歩8分）											
対象者	経験年数4年以上の方 注：認定医療社会福祉士のポイントを申請される方は、欠席・遅刻・早退がありますと、証明書は発行出来ない場合があります。											

～助川 征雄先生より～

【実践に役立つ新たな視点や技法（地域包括時代のSWの役割、望ましい対人支援のありかた）】

このGSVでは、参加者の自由な発言や体験交流を大切にしたいと思います。特に医療機関という高度な技術やサービスが期待される職場ならではのご苦労があると思います。多職種とともに働く喜びと同時に、そのような場において、ソーシャルワーカーは何をなすべきかという、「役割をはたすための様々な工夫や苦心」が多々あると思います。それらを忌憚なく自由に吐露できる場にぜひできたら良いと願います。ソーシャルワーカーは、その働きの中心に「生活支援」を大事にしてきました。しかし、少子高齢化や社会格差など、生活環境の複雑化が加速しています。また地域包括支援方針のもと、医療保健福祉ニーズがますます多様化し、現場は、さらなる負担を余儀なくされているのではないのでしょうか。しかし、これらの医療の高度化や地域化の中、「病者・障害者としての対象化」ではなく、クライアントの生活支援やささやかでも、夢や希望の実現によりそう、身近な相談援助者としての役割が一層重要になってくるのではないのでしょうか。それは、「アナログ的で人間的なかかわり」を大切にし続けるということにほかなりません。

GSVは自由な発言と自己開示の場です。今回もまた私は、これまでの経験をもとに、率直かつ柔軟にこの場に臨み、様々なご経験に耳を傾け、苦楽を分かち合い、専門職としての未来への夢や希望を語り合いたいと願うものです。

なお、GSVの参加者は9名程度とし、毎回順番に1事例を提出していただき、次回の事例提出者に司会進行をお願いしたいと思います。

時間配分は、事例報告に40分程度、その後、約1時間余自由討議をお願いしたいと思います。事例発表にあたっては、原則として、クライアントの了解を得て、資料表記は匿名でお願いします。また、下記参考文献をご覧ください。GSVへご参加くださるようお勧めします。

参考文献	助川征雄；ふたりぼっち（精神科ソーシャルワーカーからの手紙 ～新書）・万葉舎2015 助川征雄；（福祉の現場で役に立つ）スーパービジョンの本：河出書房・2012 柏木昭、佐々木敏明；ソーシャルワーク協働の思想：へるす出版・2010
------	---

～昨年度の受講者の声より～

◆とてもサポートティブで安心できる場でした。「かかわり」に目を向けながら自分自身のことも振り返ることができました。

◆種別の異なるメンバーが集まり、医療や地域の現場の実情や様々な視点でトーク出来たことが有意義でした。

◆「人生の主人公は本人」という先生の言葉を忘れず心に留めながら、クライアントと向き合っていきたい。

受 講 案 内 詳 細

スーパーバイザー養成講座

講師 福山和女先生(ルーテル学院大学名誉教授)

【講師略歴】同志社大学卒。同大学大学院修士課程修了。カリフォルニア大学バークレイ校修士課程修了。公衆衛生学修士(MPH)。Catholic University of America大学院博士課程修了。社会福祉学博士(DSW)。スーパービジョン・コンサルテーション研修では、全国各地で保健・医療・福祉の専門家たちの指導にあっている。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開催日			18日	16日		17日	15日	19日	17日	21日	18日	
開催時間	18時30分～20時30分 第3火曜日開催											
会 場	家庭クラブ会館 (JR新宿駅南口 徒歩8分)											
対 象	経験年数2年以上の方 注: 認定医療社会福祉士のポイントを申請される方は、 <u>欠席・遅刻・早退</u> がありますと、証明書は発行出来ない場合があります。											
定員	12名程度 受講申込数が定員の4割以下の場合、講座が中止になる場合があります。											
費用	25,000円(税込) 受講決定者には、後日、振込用紙を配布します。											
申込期間	平成31年5月8日(水)必着											
申込方法	講座申込書に記入し、下記宛にFAXでお申し込み下さい(メール不可)。											
申込先	東京都医療社会事業協会 事務局 宛 FAX 03-5944-9745											

福山和女先生より

スーパーバイザー養成講座では、日ごろのスーパービジョン活動の中での疑問点・困難点、を明らかにして、これまでにできてきたことのその妥当性を見つけ、スーパービジョン実践の積み上げをしましょう。最近では、新人養成も難しくなってきたようですが、スーパーバイザーである皆さんのやり方が問題なのではありません。むしろ、そのような現象が生じる社会の事象ですので、スーパービジョンでは、その事象をうまく活用して、ソーシャルワーク実践の意義を深めていきましょう。

実際には、多職種との連携でも、「さすがソーシャルワーカーさんですね」と言われたいものですね。部下の方への指導の仕方も、所属組織の独自性を加味して行うことが必要になるでしょう。

スーパービジョンの話し合いでは、所属組織の課題も取り上げることになりますが、情報開示の件は十分に考慮して行います。もちろん、秘密保持の原則を順守し、たとえば、「アメリカでは・・・」というように、内容を加工して話し合うことも専門家には求められる能力ですのでそのトレーニングも致します。また、組織の運営方針などには、干渉いたしませんので、ご安心ください。

一緒にスーパービジョンを通してソーシャルワーク実践の探究の旅にでてみましょう。

参考文献

「ソーシャルワークのスーパービジョン」ミネルヴァ書房
「統合的短期的スーパービジョン」金剛出版

～昨年度の受講者の声より～

- ◆スーパービジョンとは何なのか？バイザーの概念・具体的な声かけや方法等あらゆる視点の認識のずれを修正して頂き、目から鱗の落ちる講義でした。
- ◆「スーパービジョンに関して今までの学びが感覚的であった事がわかりました。MSWとしての考え方、理論について日常の業務で具体的に実践できるアイデアやヒントを学んだと感じます。
- ◆「スーパーバイザーとしての姿勢や考えを学ぶよい機会となりました。又、ソーシャルワーカーの理論や枠組みの大切さを改めて見つめ直す機会になり、気づきの多い講座です。

受 講 案 内 詳 細

SW実践力を鍛える ～アセスメントに根拠をもつ～

講師: 佐原 まち子 先生(一般社団法人WITH医療福祉実践研究所代表理事)

開催日	7月	8月	9月
		21日	18日
開催時間	10時00分～16時00分(12時00分～13時00分休憩) 日曜日開催		
会場	NATULUCK市ヶ谷外堀通り店 中会議室 新宿区市谷田町2-19-1 NBC市谷田町ビル3F		
対象者	東京都医療社会事業協会会員で、かつ連続受講できる方 注: 認定医療社会福祉士のポイントを申請される方は、 <u>欠席・遅刻・早退</u> があると、 <u>証明書は発行出来ない場合があります。</u>		
定員	20名 ただし、 <u>受講申し込み者が8名以下の場合、中止となる場合があります。</u>		
費用	20,000円(税込)受講決定者には、後日、振込用紙を配布します。		
申込期間	平成31年5月8日(水)必着		
申込方法	講座申込書に記入し、下記宛に <u>FAX</u> でお申し込み下さい(メール不可)。		
申込先	東京都医療社会事業協会 事務局 宛 FAX 03-5944-9745		

講座概要

医療ソーシャルワーカーとして、業務に追われる日々をお過ごしではありませんか？本講座では、ソーシャルワーカーの専門性を発揮したアセスメント力を鍛えることを目的に、3日間の継続研修を企画しました。面接の準備から始まり、ソーシャルワーカーとしての面接技術・質問法・情報収集、その情報をエコマップを活用してアセスメントし、記録するための文章表現力、などをソーシャルワークプロセスにそってワークショップ形式で学ぶことができるよう企画しました。多職種と協働する保健医療分野のソーシャルワーカーとして、根拠をもった支援が展開できることは重要です。現場経験の長い講師が現役ソーシャルワーカーに役立つために考えた研修です。ぜひ一緒に学びましょう！

～昨年度の受講者の声より～

- ◆多職種にエコマップを見せて説明をしたところ、医師から活用したいとマップの提供を申し出てもらえるなど短時間で多職種へ説明するのにとても役に立ちました。
- ◆面接における質問法の活用により、エコマップを肉付けしていくスキルも同時に学ぶことができました。

【教育部より】

一昨年・昨年と開催し、多くの方に受講いただいた講座を、本年度も開催致します。なるべく多くの方が受講しやすくなるよう、今年度も日曜日の開催とし、より深く学びが得られるよう1日通しての研修を3回行う計画です。ソーシャルワークの基本であり、かつ重要なアセスメントについて、佐原先生からの講義の他、質問法やエコマップを実際にワークで使いながら、学びを深めていくことのできる講座です。研修で得たことを実際の支援場面で使ってみて、次の回の講義に臨んでいただくことで、さらに気づきが得られるようになるのではないのでしょうか。今年度も多くの方の参加をお待ちしております。

平成31年度講座申込書

	講座名	コース選択等	
<input type="checkbox"/>	新人研修	<input type="checkbox"/>	1. 通年コース ※通年コースが定員に達した場合、集中コースを希望しますか？ (<input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない)
<input type="checkbox"/>	グループ スーパービジョン	<input type="checkbox"/>	A
		<input type="checkbox"/>	B
		<input type="checkbox"/>	C
<input type="checkbox"/>	スーパーバイザー養成講座		
<input type="checkbox"/>	SW実践力を鍛える ～アセスメントに根拠をもつ～		
申込 動機			
私は、上記研修で取り扱われる個人情報には研修内に留め、守秘義務を遵守することに			
<input type="checkbox"/> 同意します <input type="checkbox"/> 同意しません 氏名(自署)			

※希望する講座・コースの□にレ点のチェックを入れて下さい。

※申込動機も必ず記入して下さい。

申 込 者	フリガナ		性別	年齢	経験年数	
	氏	名	男・女	歳	年	ヶ月
所 属 機 関	名称		部署			
	住所 干	—	電話	—	—	
	市・区	(※郵便番号は必ず記入)	FAX	—	—	
			Mail		@	
	緊急連絡先	(携帯・自宅	—	—)

※所属機関以外の個人情報は、受講生名簿に掲載しません。

また、受講申込等の管理と担当者からの連絡以外に使用することはありません。

※自宅会員の方は、自宅住所等を記入して下さい。

※緊急時連絡先は、必ず記入して下さい。研修の中止や変更時等、緊急の連絡の際に使用します。